

令和8年度用

改訂新版 社会の新研究

神奈川県 高校入試情報

令和7年度神奈川県入試の全体傾向

●大問構成、問題数について

○大問数：地2・歴2・公2・地公1問の計7問

○小問数：昨年同様34問

○文章記述問題は出題なし。すべて番号で答える形式。

●出題傾向について

○近年のできごとをテーマにした問題展開が見られる。

○地理分野では、統計表、ハザードマップ、雨温図、グラフなど多種類の資料が出題。

○公民分野では、資料の数値を読み取る問題が出題。

○文章を読み正誤を判断する問題や、正しい記述を選ぶ問題など読解力が求められる。

★神奈川県の入試は、『社会の新研究』でバッチリ！

■ 資料読み取り問題の出題

・雨温図、グラフなど資料から各地域の特徴を読み取る問題が出題されているため、複数の資料に慣れておくことが必要。

●解説ページの「入試によく出る資料読取」コーナーで、よく出る資料の読み取り問題を出題しています。

●「フォロー特集 わかる！さまざまなグラフの読み取り方」(p. 24～25)で、いろいろなグラフの読み取り方をおさえられます。

●「資料活用問題に強くなろう！」(p. 178～183)は、例題で読み取りの基礎をおさえたと、最新入試問題で練習ができるように工夫しています。

■ 統計表の問題の出題

・地理では、地形図や統計資料を読み取り考察する問題が出題されている。公民分野も資料読み取り問題が出題されているため、複数の統計資料を読み取る力が必要。

●「即効チェック」①②入試によく出る！地理世界/日本の重要資料(p. 166～169)で、よく出る産業関係の統計を練習するとともに、統計表の読み取り方を学習できます。

★新研究で出題した神奈川県の入試問題(令和7年度)

◆p.43 大問3 ◆p.89 大問3 ◆p.129 大問2 ◆p.182 大問1 ◆p.193 大問3

神奈川県の入試傾向に完全対応！
新しい『社会の新研究』をお薦めします！



★神奈川県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

単元名／項目		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
出題内容別の傾向	地理的分野	世界の姿	●		●
		日本の姿		●	●
		世界各地の人々の生活と環境	●	●	●
		アジア州	●	●	●
		ヨーロッパ州、アフリカ州	●	●	●
		北アメリカ州、南アメリカ州、オセアニア州	●	●	●
		地域調査の手法	●	●	●
		日本の自然、人口		●	●
		日本の資源・産業、世界との結びつき	●	●	●
		九州地方、中国・四国地方		●	●
		近畿地方、中部地方	●	●	●
		関東地方、東北地方、北海道地方		●	●
		文明のおこりと日本		●	●
出題形式別の傾向	歴史的分野	古代国家の歩み	●	●	●
		中世社会の展開	●	●	●
		ヨーロッパ人との出会いと全国統一		●	●
		近世社会の発展	●	●	●
		近代ヨーロッパと日本の開国			●
		近代日本の歩み	●		●
		二度の世界大戦と日本		●	●
		現代の日本と世界	●	●	●
	公民的分野	現代社会と私たちの生活		●	●
		個人の尊重と日本国憲法	●	●	●
		現代の民主政治、国会		●	
		内閣・裁判所、三権分立	●	●	●
		地方自治			
		消費生活と流通・生産、市場経済と金融	●	●	●
		財政、国民生活と福祉	●	●	●
		地球社会と私たち	●	●	●
		分野統合	●	●	●
		大問数	7	7	7
		小問数	32	33	34
		記号解答	32	33	34
		用語記述			
		文章記述			
		作業・作図			